



SPH事業の目玉「ドローン」の研修会を開催しました。

平成29年12月27日(水)、平成30年1月5日(金)の2日間、本校において教職員12名が参加しドローンに関する研修会を開催しました。

本校のドローンは、SPH事業で購入し、環境土木コースが先端的な測量技術として使用する他、コース間連携において、樹冠観察実習や生育状況観察等をサポートする計画です。また、農業高校の魅力を伝えるイベントなどにおいて、デモンストレーション等に今後、役立てて行きたいと考えています。研修会の様子を報告します。



初日の講義の様子



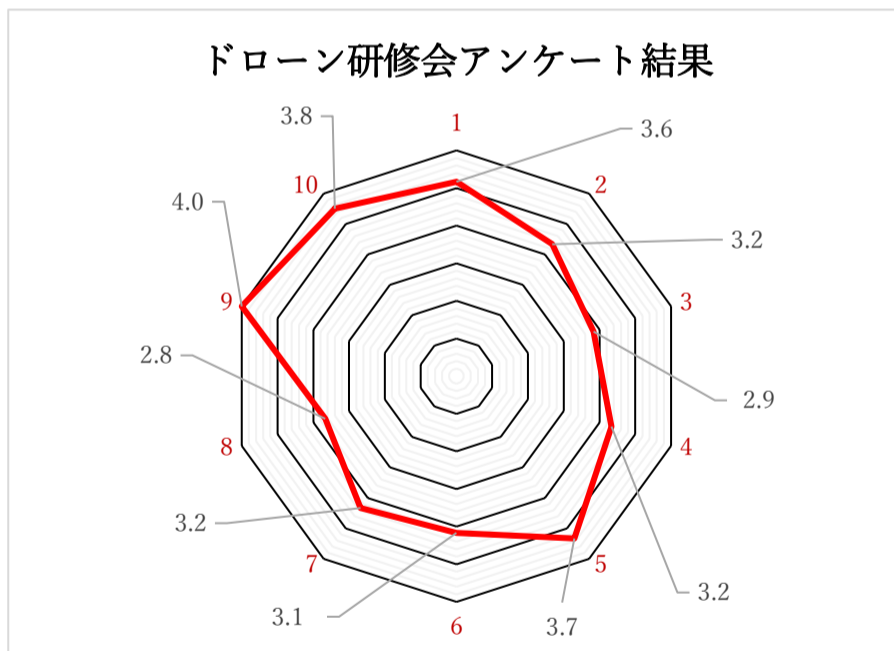
SPH事業で購入したドローン



体育館で飛行している様子

【アンケート調査結果】

評価は4段階で回答し、よくあてはまる「4」～全くあてはまらない「1」とした。



No.	評価内容	評価
1	ドローンの飛行に関する申請や許可の仕組みが理解できた。	3.6
2	ドローンの操作方法が理解できた。	3.2
3	ドローンを活用し、生徒が興味を持てる授業や実習内容がイメージできた。	2.9
4	ドローンを活用し、コース内で利用できると思った。また、したいと思った。	3.2
5	ドローンに関してもっと深く知りたいと思った。	3.7
6	ドローンを個人的に試してみようと思った。	3.1
7	ドローンについて誰かに紹介したいと思った。	3.2
8	SPH研究開発事業に関する意識が高まった。	2.8
9	今回の研修は有意義なものだった。	4.0
10	このような研修会は、今後も開催した方がよいと思った。	3.8

今回の研修会は、新潟市の金井度量衡株式会社様のご協力で開催しました。結果から分かるように大変有意義な研修会でした。ドローンは操作技術が難しく、相当量の練習時間が必要なことや、法令手続きが重要であることなどを改めて知る機会になりました。

【金井度量衡株式会社様より助言】

○最低でも10時間の練習時間で基本操作をマスターする。

○屋外では乱気流などの緊急時にも安全に着陸させる技術を身に付けておく必要がある。